

## 教員選考個人調書

年 月 日現在

ふりがな 氏名		男・女	現住所	〒 ー
			電話番号	
生年月日(年齢)	年 月 日 ( 歳)	E-mail	@	

### I. 履 歴

#### 学歴・職歴【和暦で記入】

年 月	事 項
年 月	( 学 歴 )
年 月	( 職 歴 )
	<p>(注)・学歴と職歴に分けて記入すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学歴は高専卒業以上から記入すること。</li> <li>・海外渡航は、外国の機関に在籍したもののみを職歴に加えること。</li> </ul>

#### 学位（博士）【和暦で記入】

年 月	名称・大学（番号）・論文題目
年 月	

#### 賞 罰 【和暦で記入】

年 月	事 項
年 月	

## II. 教育活動・研究活動・学会及び社会的活動

### 1. 教育活動について

#### (1) 教育研究機関での教育経験

##### ①担当授業科目

(注※ i～viii は、例です。また、i～iii は原則3年以内、iv～viii は原則5年以内で書いてください。)

- i 大学等(高等教育)教養科目・専門科目 (学校名, 授業科目名, 授業数, 年度)
- ii 中学校, 高等学校等(中等教育)の担当授業 (学校名, 授業科目名, 授業数, 年度)
- iii 本校での担当 (授業科目名, 授業数, 年度)
- iv 自己点検・評価等で受けた高い評価とその内容 (年度)
- v その他の授業 (公開講座, 出前授業, 特別講演, 留学生プログラム等)
- vi 非常勤講師(i～iv以外)(学校名, 授業科目名, 授業数, 年度)
- vii 大学外での社会人教育活動等
- viii 教材開発実績(資料, ホームページ等)

##### ②卒業研究等の指導

(注※ i は原則3年以内、ii～iii は原則5年以内のものを書いてください。)

- i 本校における(本科・専攻科)での卒業研究等の指導状況 (テーマ, 学生数, 年度)
- ii 学生への指導実績 (学生の学会発表, 受賞, 研究助成等, 年度)
- iii その他特記事項

##### ③厚生補導関係

(注※ 原則5年以内で書いてください。)

- (例) 課外活動(クラブ活動、学生会等)への従事 (クラブ等名 年度)
- 生活・進路指導の状況 (年度)
- 主事補, OO委員会委員の担当歴

#### (2) 教育に関する研究業績

- (例) 優れた教育方法の実践例・授業の工夫改善 (年度)
- 教育に関する研究業績(現在→過去で記載)

#### (3) 企業での教育経験

- (例) 技術士(技術士法第32条)等の資格取得, 技術士等の養成指導, 社員教育, 社内での学位論文指導, 特許取得の指導, インターンシップ教育への関わりなど

## 2. 研究費（外部資金）の獲得状況

(例) 科学研究費補助金, 政府出資金事業等, 共同研究, 受託研究, 企業・財団等の助成金, 特許等による研究費,  
奨学寄附金など

## 3. 学会・社会活動（過去5年以内の状況）

### (1) 参加した国内学会, 国際学会

学会名 (役職, 委員, 実行委員等, 招待講演等 (招待された状況), 出席状況)

学会等の受賞歴 (受賞名, 年度)

### (2) 地域学会・研究会

学会・研究会名 (会の目的, 参加状況)

### (3) その他の学会・社会活動等

地域との連携活動 (活動名, 役職・役割, 年度)

公共機関や団体等における活動 (活動名, 役職・役割, 年度)

本校等での主事, 主事補, 委員会委員等の従事歴 (役職等名, 年度)

## 4. 実務実績

### (1) 企業、行政機関等での職務経験・活動経験とその内容

企業等での職務経験・活動経験の実績 (職名, 役職, 活動・役割, 年度)

企業等での資格・免許等の取得 (資格・免許名, 取得年度)

### (2) 特許・実用新案等の実績

特許・実用新案等の取得実績 (特許・実用新案等名, 分担等, 取得年度)